

令和7年度

運営に関する計画
～中間評価～

大阪市立東淡路小学校

令和7年10月

(様式2)

大阪市立東淡路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:十分に上回れそうな取組が進んでいる

B:達成できそうな取組が進んでいる

C:取組が多少不足し、達成できないかもしれない

D:ほとんど取組が進んでいない

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度(77.5%)以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・情報を職員全体で共有し、集団指導体制の充実を図る。 ・いじめの早期発見・解消のために、いじめに関する年間計画（いじめについて考える日・いじめアンケートなど）を作成し、計画に従い実践する。		B
指標 ・課題のある児童や配慮を要する児童の情報を共有し、対策を講じるための「児童理解連絡会」を月1回開く。 ・いじめアンケートを学期ごとに年3回実施し、認知したいじめ事案については100%拾い上げ、解決を目指す。		
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・たてわり班の編成をし、活動の活性化を図る。 ・きょうだい学年や異学年での活動を意図的に取り入れ、異学年交流をすすめる。 ・福祉学習を行い、思いやりをそだてるとともに、様々な人の生き方に学ぶ。		B
指標 ・たてわり班活動(朝の集会、全校遠足、スポーツ集会)を年間10回以上実施する。 ・他学年との交流を含めた学習を各学年とも年1回以上行う。 ・4年で車いす、5年で盲導犬、アイマスクに関する福祉体験学習を行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容① ・職員会議後に児童理解連絡会を開き、課題のある児童や配慮を要する児童の情報を共有することができている。 ・いじめアンケートについては、認知した事案があれば担任が聞き取りをし、その内容を関係者で共有できている。		
取組内容② ・たてわり班は、月に数回の児童集会や5月に行ったロング集会など、定期的に活動でき		

<p>ている。今後は、11月の全校遠足での活動を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流は、1・6年が交通安全指導や清掃活動、1・2年が学校探検やおもちゃランド、大阪・関西万博遠足にて2・3年4・5年がそれぞれ交流した。校庭除草が雨天のため中止となり交流の機会が減ったが、全校遠足でのペア学年との交流や3年は、音楽の発表を異学年に聞いてもらうことを予定している。 ・福祉体験学習の実施は今後計画されている。
後期への改善点
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題行動などで担任や学年だけで解決できる事案や、解決済みの事案に関しても、生活指導部を中心に学校全体で把握し、次年度以降のために細かなことも共有していくようにする。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組む。

(様式 2)

大阪市立東淡路小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:十分に上回れそうな取組が進んでいる

B:達成できそうな取組が進んでいる

C:取組が多少不足し、達成できないかもしれない

D:ほとんど取組が進んでいない

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。(1 ポイント＝0.01) (前年度国語 4 年：1.00、5 年：1.02、6 年：1.04) ・ 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。(1 ポイント＝0.01) (前年度算数 4 年：1.06、5 年：1.10、6 年：1.17) ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を前年度（69.0%）以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の増加】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語力の基礎となる漢字の習得のため、2 学期に校内漢字検定、3 学期に 1～4 年生は校内漢字検定、5・6 年生は日本漢字能力検定を実施する。 <hr/> 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年で習う新出漢字を 2 学期までに終わらせるように計画し、3 学期は問題演習に取り組み、合格者の割合を 50%以上にする。 	B
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の増加】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども一人一人が参加し、主体的で対話的、深い学びのできる授業を工夫する。 <hr/> 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月に 1 回程度「ひがあわタイム」を設置し、全教員で放課後補充学習を行う。 ・ 全員参加型の研究授業・研究討議会を年 3 回実施する。またその他の研究授業や校内研修を充実させていく。 	B
取組内容③【基本的な方向 5 健やかなる体の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業間なわとびの日程や内容を工夫して実施する。 ・ 児童の運動意欲を高められるような企画を計画して実施する。 <hr/> 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業間なわとびを年間 5 日実施する。 ・ 運動委員会を中心に、児童の運動意欲を高められるような企画を計画し、年 2 回以上実施する。 	B
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
取組内容① <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字検定で合格することを目標に、各学年で児童の実態に応じた取り組みがなされている。特別支援学級では児童にあったペースと内容で学習を進めている。 取組内容② <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に基づき、「ひがあわタイム」を全校あげて取り組むことができている。教員 1 人に対して児童 2、3 人の指導をしているので、個別の指導が十分にできている。担任以外の教員にとっては、学年児童の様子がよくわかる取り組みにもなっている。 	

・全員参加型の研究授業、研究討議会が実施できており、研修が深まっている。1人1本の公開授業も計画的に行えており、教職員の校内研修も充実している。
研究教科である図画工作科の研修も講師を招いて2回実施し、実技研修も行うことができた。

取組内容③

- ・業間なわとびは、3学期に計画している。
- ・運動委員会によるスポーツチャレンジの取り組みは、児童が楽しみながら行うことができています。

後期への改善点

取組内容①

- ・2学期末、3学期の漢字検定にむけて継続して取り組んでいく。

取組内容②

・今後も計画に沿って実施していく。夏季休業中の校内研修は担当がだれか不明確だったので、担当間で情報共有や連絡が必要である。また、年度末の研究冊子作成にむけて、成果と課題などをまとめていく必要があるので、授業が終わった学年については早めに取り掛かれるよう計画していく。

取組内容③

- ・継続して取り組む。

大阪市立東淡路小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A:十分に上回れそうな取組が進んでいる C:取組が多少不足し、達成できないかもしれない	B:達成できそうな取組が進んでいる D:ほとんど取組が進んでいない
---	--------------------------------------

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。 ・第 2 期「学校における働き方改革推進プラン」に掲げた、教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を前年度 (89.3%) 程度にする。 注) 基準 1 …以下の 2 つを共に満たす。 <ul style="list-style-type: none"> ① 1 か月の時間外労働時間が 45 時間を超えない。 ② 1 年間の時間外労働時間が 360 時間を超えない。 ・年度末の学校アンケート (保護者対象) で、「学校は、教室や運動場などの環境を整備するよう努めている」への肯定的な回答を 90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X (デジタルトランスフォーメーション)】 ・子どもの興味・関心を高めるために、一人一台端末を積極的に活用していく。 ----- 指標 ・学校活動の中でほぼ毎日、書画カメラ、デジタル教科書、Google Classroom、まなびのポータルなどを効果的に活用する。	B
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・行事を含めた教育課程や会議等の精選を図るとともに持ち方を工夫する。 ----- 指標 ・職員会議の資料を 3 日以上前にデータで配布する。 ・通知表の芸能教科等の 1 学期の評定を、2 学期とまとめる。 ・家庭訪問の代わりに個人懇談を行い、学級懇談会との選択制にする。 ・出欠連絡と手紙の配布にリーバーやミマモルメといったアプリを活用する。	B
取組内容③【その他】 ・施設整備委員会を計画的に行い、配慮を要する児童に対応した設備など、安全・清潔で効果的な学習環境を整える。 ----- 指標 ・施設整備委員会を年 2 回以上行い、環境整備に関する課題を共有化する。 ・防音キャップ設置教室を増やす、教室内に土や砂を上げないなど、安全・清潔で効果的な学習環境を整える。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

取組内容①

・学校活動の中で継続的に活用しており、デジタル教科書、Google Classroom、心の天気など多様な場面で児童が使用している。

取組内容②

・職員会議資料の事前配布や行事の精選で業務負担は減ってきている。
・リーバーの活用やＳＳＳ、事業担当主事の方などの協力で、担任が児童と接したり、指導したりする時間が確保されている。

取組内容③

・指標通りに計画・実施できている。
・下靴、上靴、講堂シューズを場に応じて履き替えることで、土や砂が上がらないように気をつけることができている。ごみ集めも美化委員会の児童が校内を回るなどしている。立ち入り禁止の表示や、廊下を歩こう、すみずみまできれいにしようなどのポスター掲示ができている。特別支援学級にも防音キャップの設置ができた。毎月安全点検・遊具点検が行われ、係、管理職、管理作業員と環境整備について共通理解している。

後期への改善点

取組内容①

・今後も学習時での利用の仕方について工夫し、より効果的に活用する。

取組内容②

・ＳＫＩＰ連絡掲示板などを活用し、さらに時間の確保に努める。
・水泳参加のリーバー入力など、保護者に声かけを行い、確認作業の縮小を図る。

取組内容③

・工事による環境の変化に今後も対応していく。